

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月19日

計画の名称	盛岡西部における交通拠点の形成														
計画の期間	令和02年度 ~ 令和05年度 (4年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	盛岡市														
計画の目標	もりおか交通戦略に位置付けられた田沢湖線盛岡・大釜駅間の新駅整備を実施するもので、公共交通利用率の低い新駅北側住宅地エリアにおける公共交通の利用促進を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		798	A	798	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R3末）	（R5）
1	1日当たり新駅乗車人数を1,200人（R5）にする。			
	1日当たり新駅乗車人数	0人	0人	1200人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供	
目標値は、隣駅（大釜駅）の駅勢圏人口に対する駅利用者数の割合に新駅駅勢圏人口を乗じて算出															

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	新駅整備事業	新駅整備	盛岡市	■	■	■	■		510	2.2	-	
	A13-002	都市交通	一般	盛岡市	直接	盛岡市	-	-	駅前広場整備事業	駅前広場整備	盛岡市	■	■	■	■		288	2.2	-	
											小計						798			

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

盛岡市交通政策課にて事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和6年11月

公表の方法

盛岡市公式ホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

目標値には満たないものの、朝夕は通勤・通学、日中は近隣商業施設への買い物等で利用する人が一定数確認され、駅周辺地域や駅周辺地域外の人々の移動利便性が向上している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

盛岡市内大型イベント時には、近隣商業施設（イオンモール盛岡）及びJR東日本盛岡支社と共同でパークアンドライドを実施し、駅利用者数の増加に努めた。

○ 特記事項（今後の方針等）

引き続き前潟駅利用促進の取り組みを実施し、駅周辺地域の公共交通利用率の向上を図る。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	1日当たり新駅乗車人数		
	最 終 目 標 値	1200人	JR前潟駅の開業から１年以上が経過しているが、周辺地域において日常の交通手段として定着していないことが要因として考えられる。また、JR前潟駅が設置されているJR田沢湖線が単線かつ新幹線と兼用であり、上下各運転間隔が長く（最大約３時間）、通勤・通学や買い物等で利用できる列車が限られることも、駅勢圏利用者を取り込めない要因になっていると考えられる。
	最 終 実 績 値	202人	